四日市市立保々小学校だより

令和5年2月7日 第31号

HPOQRJ-F

今を未来に





学ぶことが楽しい学校 だいすき・つながる・じっくり・やってみる・すこやか・まなぶ

ほぼ 保々のつどい 2月3日

大雪による休校で練習時間が減り、例年より少ななない練習で迎えたつどいでもからでありが持てる力がらないでもからを合わせて自分たちの力ががました。その子らしい、その子らしい、その子らしいとなりました。くつも見られたつどいとなりました。

今年度の保々のつどいは、感染症対策から I・2年、3・4年、5・6年の3部制で行いました。そして、今年は、

- ① 子どもたちが司会進行をすること
- ② 発表を聴いて、感じたことや考えたことを交流すること

に取り組み、子どもたちによるつどいとなりました。

<ねらい>

- □学んだことを発表し、
- ・自分自身の学びを振り返る
- ・差別をなくそうとする気持ちを高める
- □発表を聴き合い、学校全体で
- ・人権の大切さを確かめ合う
- ・反差別のなかまとしてつながる
- □取り組みを通して、
- ·ありのままの首分を受け入れ、首分をすき になる → すべての人を大切にする
- ・自分にできることを考え、行動する

みなさんにとって、保々のつどいを終えて、どうでしたか。保々のつどいは、これまでの学習のまとめであり、未来に向けてのスタートでもあります。一人ひとりが振り、新たな目標を持ち、今を未来につなげていきましょう。

第一部 一・2年生

| 年生「じぶんだいすき・ともだちだいすき ~ あそびをとおしてつながろう~」

ですがめてのつどいの発表でしたが、自分たちの力で最後までやり切りました。活動を通して、互いに知り合い、気持ちを伝え合い、

大切ななかま になってたった ことが伝わっ てきました。



2年生「いいな、自分・いいな、友だち」
「元気いっぱいの声で、力を合わせてやり遂げた発表でした。保々の町のこと、自分やな

んだことを た。 さが分が が大 ですね。



<感想交流>

2年生のたくさんの人が、声の大きさや姿勢など | 年生の発表のよかったところを発表のよかったところを発表しました。それをお手本にして、 | 年生の人もたくさん発表できました。司会の2年生の人は、堂々とは、一大でです。最後のまとめも素晴らしかったです。





第2部 3 · 4年生

3年生「安全安心保々の町」

これまでの活動を紙芝居で表し、拍子木も入ったテンポよい発表は聴き手を引き込



4年生「命を大切にしよう

~私たちにできる備え~」

学んできたことをどう表現するか、直分たちで考え取り組んできた4年生。様々な立場の人の困ることや思いを知ろうとし、であり助け合える人になりたいという思いが伝わる発表でした。最後に語った人の、

みていた素かないます。しと言心。にっまましなかが言ましないまましないます。



<感想交流>

4年生は、3年生の表現の工夫や自分を ちのテーマとの共通点などにふれる発表が あり、さすが4年生でした。3年生の人は、 たくさんの人が意欲的に感想を発表しました。司会の人は協力して自分たちで進めました。最後のまとめも素晴らしかったです。



第3部 5・6年生 5年生「もっともっと知ろう

~困っている友だちに自を向けて~」 しっかりとした声のセリフとテンポよい 寸劇で場面が展開していきました。「ちょっ と待てい!」の言葉で、観る人が立ち止まり ダムが 考えさせられる発表で、さすが5年生でし



6年生「誰もが安心して暮らすためには ~自分たちの気づきを伝えよう~」

差別問題に対する怒りや説明を対域に差別を対域にあるう、その思いを必要になるう。その思いを必要になるが最後まで考えてきた6年生。思いが伝える発表でした。 代表しておきない。近々のありのままが出来ない。近々のありのままがとうなる保々にしていきたいといったる。 はんしょうがらにしていきたいというではくしました。





寒い日でしたが、たくさんの保護者の方に参観いただき、ありがとうございました。 子どもたちの発信がどのように伝わったか、 ぜひ感想をお寄せください。